

2022 年度浦安キャンパス  
大学院学生による  
授業評価アンケート実施結果

浦安キャンパス大学院

授業評価アンケート専門委員会

## 1 アンケートの概要

### (1) 目的

浦安キャンパス大学院のファカルティ・ディベロップメント活動の一環として、本学の教育の質的改善に役立てることを目的とし、大学院学生による授業評価アンケートを実施した。

### (2) 実施期間

2022年7月4日(月)9:00～7月16日(土)23:59

### (3) 実施対象授業科目等

アンケート実施期間中に開講している専任教員が大学院で担当する授業科目(特別演習、特別研究及び履修者2名以下の科目は除く。)のうち、専任教員1人あたり履修登録者数が最多の1科目。

なお、1つの授業科目を複数教員で担当している場合は、当該授業科目の代表教員を授業担当教員とした。

### (4) 実施方法

ア アンケートは、学生がPC又はスマートフォン等を利用してアンケート実施期間中の任意の時間にWebポータルシステムから回答した。

イ 教員は、アンケート実施期間中の該当授業においてアンケート回答の時間を設けることができることとした。

### (5) 集計結果分析及び授業改善策等について

授業担当教員はアンケート集計値をWebポータルシステムから確認し、集計結果分析及び授業改善策(現状の説明・課題及び改善点・学生向けコメント)を大学院授業評価アンケート専門委員会委員長に提出した。

※ 授業ごとの集計結果分析及び学生向けコメントについては「2 集計結果分析(P.4～15)」のとおり。

### (6) アンケート項目

1 あなたはこの授業1回につき、 <u>予習</u> に平均何時間取り組みましたか
3時間以上 / 2時間以上3時間未満 / 1時間以上2時間未満 / 30分以上1時間未満 / 30分未満 / ほとんどしなかった
2 あなたはこの授業1回につき、 <u>復習</u> に平均何時間取り組みましたか
3時間以上 / 2時間以上3時間未満 / 1時間以上2時間未満 / 30分以上1時間未満 / 30分未満 / ほとんどしなかった
3 教員はこの授業の目的と目標をきちんと説明しましたか
強くそう思う / そう思う / どちらともいえない / そうは思わない / 全くそうは思わない

4	教員の説明は分かりやすかったですか
	強くそう思う / そう思う / どちらともいえない / そうは思わない / 全くそうは思わない
5	教員の授業に対する意欲や熱意は感じられましたか
	強くそう思う / そう思う / どちらともいえない / そうは思わない / 全くそうは思わない
6	教員の学生への対応(質問等に対する対応)は適切でしたか
	強くそう思う / そう思う / どちらともいえない / そうは思わない / 全くそうは思わない
7	この授業を受けたことで研究に対する意欲が増しましたか
	強くそう思う / そう思う / どちらともいえない / そうは思わない / 全くそうは思わない
8	この授業に対するあなたの満足度はどの程度でしたか
	満足 / やや満足 / どちらともいえない / やや不満 / 不満
9	この授業はあなたの大学院入学の目標達成に関してどんな意味を持ちましたか (自由記述)。
10	この授業について改善すべきと考えられる点があったら書いてください (自由記述)。

(7) アンケート実施科目及び回答者数

実施対象科目数：19科目

回答者数：73名〔対象者数(履修者数)87名〕

研究科	科目名称	氏名	対象者数	回答者数
応用言語学研究科	応用言語学研究法特論	嶋田 珠巳	6	6
応用言語学研究科	応用言語学特論	中川 仁	6	6
応用言語学研究科	日本語教育方法特論	荻原 稚佳子	5	5
応用言語学研究科	日本語教育教材特論	片桐 史尚	5	5
応用言語学研究科	日本語教育学特論	木山 三佳	4	4
応用言語学研究科	日本語学特論	佐々木 文彦	5	5
応用言語学研究科	中国現代文学特論	河村 昌子	3	2
応用言語学研究科	異文化コミュニケーション特論	梅谷 博之	3	3
経済学研究科	実証分析特論	中澤 栄一	6	5
経済学研究科	ミクロ経済学特論	廣部 恒忠	7	4
経済学研究科	会計学特論	池田 晋	3	2
経済学研究科	経営学特論	寺村 絵里子	8	4
経済学研究科	経営管理特論	岡村 龍輝	3	3
経済学研究科	研究・論文技法演習	影山 純二	6	2
不動産学研究科	不動産研究方法論	斎藤 千尋	4	4
不動産学研究科	日本不動産事情特論	兼重 賢太郎	3	3
不動産学研究科	不動産企画・経営特論	中城 康彦	3	3
不動産学研究科	都市空間マネジメント特論	前島 彩子	3	3
不動産学研究科	居住環境マネジメント特論	小杉 学	4	4
合 計			87	73

## 2 集計結果分析

### (1) 応用言語学研究科

#### 【集計結果】

対象者数(のべ)	37
回答者数(のべ)	36
回答率	97.3%

(1) あなたはこの授業1回につき、予習に平均何時間取り組みましたか		
3時間以上	5	13.9%
2時間以上3時間未満	16	44.4%
1時間以上2時間未満	7	19.4%
30分以上1時間未満	5	13.9%
30分未満	1	2.8%
ほとんどしなかった	2	5.6%

(2) あなたはこの授業1回につき、復習に平均何時間取り組みましたか		
3時間以上	0	0.0%
2時間以上3時間未満	17	47.2%
1時間以上2時間未満	8	22.2%
30分以上1時間未満	8	22.2%
30分未満	3	8.3%
ほとんどしなかった	0	0.0%

(3) 教員はこの授業の目的と目標をきちんと説明しましたか		
強くそう思う	23	63.9%
そう思う	8	22.2%
どちらともいえない	5	13.9%
そうは思わない	0	0.0%
全くそうは思わない	0	0.0%

(4) 教員の説明は分かりやすかったですか		
強くそう思う	23	63.9%
そう思う	10	27.8%
どちらともいえない	3	8.3%
そうは思わない	0	0.0%
全くそうは思わない	0	0.0%

(5) 教員の授業に対する意欲や熱意は感じられましたか		
強くそう思う	26	72.2%
そう思う	8	22.2%
どちらともいえない	2	5.6%
そうは思わない	0	0.0%
全くそうは思わない	0	0.0%

(6) 教員の学生への対応(質問等に対する対応)は適切でしたか		
強くそう思う	24	66.7%
そう思う	8	22.2%
どちらともいえない	4	11.1%
そうは思わない	0	0.0%
全くそうは思わない	0	0.0%

(7) この授業を受けたことで研究に対する意欲が増しましたか		
強くそう思う	23	63.9%
そう思う	8	22.2%
どちらともいえない	5	13.9%
そうは思わない	0	0.0%
全くそうは思わない	0	0.0%

(8) この授業に対するあなたの満足度はどの程度でしたか		
満足	24	66.7%
やや満足	7	19.4%
どちらともいえない	5	13.9%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%

## 【研究科の総評】

大学院における授業については、本研究科の必修科目である「応用言語学研究法特論」、「応用言語学特論」をもとに、基礎言語学の学修及びそれぞれの専門分野における研究方法の基礎を学ぶことを主眼とし、その学びは各分野における研究を進めていく上で必要不可欠なものであり、研究の根幹とされるべきものである。これらを踏まえ、以下のようにアンケート調査の結果を提示するものである。

この度のアンケート調査をもとに、授業の予習には、院生たちの時間配分が記され、やはり2時間から3時間の時間を一科目について、時間を要しているとのことが理解できた。またそれぞれの研究分野との比較やその研究と連動する部分に時間を要しているとも捉えることができた。

教員の授業についても、その取り組みは、時間をかけて授業の準備をし、研究への取り組みをも示唆するものと考えられ、教員の院生への授業は少人数であるため、専門的なことがらを含め、各分野の論文の紹介、先行研究のありかた、最新の研究への動向などを含め、それを提示し授業のなかで、それをより良い方策として考え論文を作成するために構築していく力として、それを提示していることがよく理解できた。それは教員の授業に対する熱意の部分であり、まさにそれにあたる部分である。そして院生からの質問に対する部分についても、的確な指導を含め、課題への解決策を提示している。

授業を受けて、院生の研究への取り組みが、意欲が増したという点についても、教員の研究への助言、研究方法の提示など、その研究方法の導きと判断が的確であり、それぞれの研究分野でいかせることがらであるということが理解できる。それぞれの分野での授業の満足度についても、教員が十分に対応していることが伺える結果であるといえる。

研究には時間を要するものであり、それぞれの分野において、専門家である教員は、院生の研究分野を把握し、適切な助言と的確な研究への導きを行っていけることの準備が常にできていることが提示できたと思われる。

最後に、どちらともいえないという意見については、院生の研究に対する戸惑いなどを提示しているものであると感じている。これらについては、指導教員と研究の進め方を相談していくことによって解決されることであり、現状の把握していかなければならないことがらである。このアンケート調査の結果をみて、改めて理解できたことがらである。

(応用言語学研究科長 中川 仁)

## 【学生向けコメント】

---

### 応用言語学研究法特論

---

修士論文を書くのは簡単なことではないと感じていると思います。授業で何かを得た時にはそれを普段の研究活動に、自分の研究に、早速取り入れて、日々続けることです。知りたいこと、明らかにしてみたいことがしっかりしていれば、方法や研究の方向も自ずと決まってきます。今は何をやっても全てが栄養になります。日々の時間を大事に、しっかり力をつけてください。

---

### 応用言語学特論

---

院生諸君におかれては、それぞれの分野を試行錯誤しながら、研究を進めていく姿勢を保っていただきたいと思っています。大学院での学びは、自分で小さな研究分野をもち、それを先行研究や客観的な研究から、自分の考えと照らし合わせて進めていかなければなりません。その基礎的な事項をこの授業では、概略的なことから学び、その手法に着手する方策を同時に学ぶものであります。自分の研究分野とそれぞれの先生方の視点から研究の手法を学びとることも重要なので、そこにも留意しながら、研究を進めていっていただきたいと思っています。

---

### 日本語教育方法特論

---

アンケートへのご協力ありがとうございました。皆さんが積極的にこの科目に参加していることがよくわかりました。また、課外での学習時間を大学院生として適正にかけていることもわかりました。教授法に興味を持ってもらえたことをうれしく思います。後学期は、より教育観に近い内容になり、論文などを読んだりしますが、徐々に自分の知識を深め、能力を伸ばしていくよう努力を続けてもらえるといいと思っています。それにより、ご自分の論文執筆にも役立つ能力が身につくと考えています。これからも引き続き頑張ってください。

---

### 日本語教育教材特論

---

他の院生の専門内容の疑問を知る(識る)ことにより幅広い教養を得て、自らの論文に応用して行ってください。

---

### 日本語教育学特論

---

履修する科目が多い中で、しっかりと準備して授業に臨んでいるのは大変素晴らしいと思います。

---

### 日本語学特論

---

後学期はさらに深い探求ができるように、各自のテーマを掘り下げていただきたい。また、単に意見や質問を出し合うだけでなく、意見交換することによって新しい視点が得られるような深いディスカッションができるように取り組んでいきたいと考えています。さらなる積極的な参加を望みます。

---

### 中国語現代文学特論

---

熱心にご受講いただきどうもありがとうございます。後学期も引き続き丁寧に資料を調査しながら教材を読み進めていきましょう。

---

### 異文化コミュニケーション特論

---

前学期は、全員が積極的に発言してくれて、教員にとっても大変勉強になりました。後学期も一緒に勉強していきましょう。

---

(2) 経済学研究科

【集計結果】

対象者数(のべ)	33
回答者数(のべ)	20
回答率	60.6%

(1) あなたはこの授業1回につき、予習に平均何時間取り組みましたか														
3時間以上	4	<table border="1"> <tr><td>3時間以上</td><td>20.0%</td></tr> <tr><td>2時間以上3時間未満</td><td>15.0%</td></tr> <tr><td>1時間以上2時間未満</td><td>50.0%</td></tr> <tr><td>30分以上1時間未満</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>30分未満</td><td>15.0%</td></tr> <tr><td>ほとんどしなかった</td><td>0.0%</td></tr> </table>	3時間以上	20.0%	2時間以上3時間未満	15.0%	1時間以上2時間未満	50.0%	30分以上1時間未満	0.0%	30分未満	15.0%	ほとんどしなかった	0.0%
3時間以上	20.0%													
2時間以上3時間未満	15.0%													
1時間以上2時間未満	50.0%													
30分以上1時間未満	0.0%													
30分未満	15.0%													
ほとんどしなかった	0.0%													
2時間以上3時間未満	3													
1時間以上2時間未満	10													
30分以上1時間未満	0													
30分未満	3													
ほとんどしなかった	0													
(2) あなたはこの授業1回につき、復習に平均何時間取り組みましたか														
3時間以上	6	<table border="1"> <tr><td>3時間以上</td><td>30.0%</td></tr> <tr><td>2時間以上3時間未満</td><td>5.0%</td></tr> <tr><td>1時間以上2時間未満</td><td>50.0%</td></tr> <tr><td>30分以上1時間未満</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>30分未満</td><td>15.0%</td></tr> <tr><td>ほとんどしなかった</td><td>0.0%</td></tr> </table>	3時間以上	30.0%	2時間以上3時間未満	5.0%	1時間以上2時間未満	50.0%	30分以上1時間未満	0.0%	30分未満	15.0%	ほとんどしなかった	0.0%
3時間以上	30.0%													
2時間以上3時間未満	5.0%													
1時間以上2時間未満	50.0%													
30分以上1時間未満	0.0%													
30分未満	15.0%													
ほとんどしなかった	0.0%													
2時間以上3時間未満	1													
1時間以上2時間未満	10													
30分以上1時間未満	0													
30分未満	3													
ほとんどしなかった	0													
(3) 教員はこの授業の目的と目標をきちんと説明しましたか														
強くそう思う	16	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>80.0%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>20.0%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	80.0%	そう思う	20.0%	どちらともいえない	0.0%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%		
強くそう思う	80.0%													
そう思う	20.0%													
どちらともいえない	0.0%													
そうは思わない	0.0%													
全くそうは思わない	0.0%													
そう思う	4													
どちらともいえない	0													
そうは思わない	0													
全くそうは思わない	0													
(4) 教員の説明は分かりやすかったですか														
強くそう思う	16	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>80.0%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>15.0%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>5.0%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	80.0%	そう思う	15.0%	どちらともいえない	5.0%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%		
強くそう思う	80.0%													
そう思う	15.0%													
どちらともいえない	5.0%													
そうは思わない	0.0%													
全くそうは思わない	0.0%													
そう思う	3													
どちらともいえない	1													
そうは思わない	0													
全くそうは思わない	0													



(5) 教員の授業に対する意欲や熱意は感じられましたか												
強くそう思う	14	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>70.0%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>30.0%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	70.0%	そう思う	30.0%	どちらともいえない	0.0%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%
強くそう思う	70.0%											
そう思う	30.0%											
どちらともいえない	0.0%											
そうは思わない	0.0%											
全くそうは思わない	0.0%											
そう思う	6											
どちらともいえない	0											
そうは思わない	0											
全くそうは思わない	0											
(6) 教員の学生への対応(質問等に対する対応)は適切でしたか												
強くそう思う	16	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>80.0%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>20.0%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	80.0%	そう思う	20.0%	どちらともいえない	0.0%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%
強くそう思う	80.0%											
そう思う	20.0%											
どちらともいえない	0.0%											
そうは思わない	0.0%											
全くそうは思わない	0.0%											
そう思う	4											
どちらともいえない	0											
そうは思わない	0											
全くそうは思わない	0											
(7) この授業を受けたことで研究に対する意欲が増しましたか												
強くそう思う	11	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>55.0%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>30.0%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>15.0%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	55.0%	そう思う	30.0%	どちらともいえない	15.0%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%
強くそう思う	55.0%											
そう思う	30.0%											
どちらともいえない	15.0%											
そうは思わない	0.0%											
全くそうは思わない	0.0%											
そう思う	6											
どちらともいえない	3											
そうは思わない	0											
全くそうは思わない	0											
(8) この授業に対するあなたの満足度はどの程度でしたか												
満足	16	<table border="1"> <tr><td>満足</td><td>80.0%</td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>20.0%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>不満</td><td>0.0%</td></tr> </table>	満足	80.0%	やや満足	20.0%	どちらともいえない	0.0%	やや不満	0.0%	不満	0.0%
満足	80.0%											
やや満足	20.0%											
どちらともいえない	0.0%											
やや不満	0.0%											
不満	0.0%											
やや満足	4											
どちらともいえない	0											
やや不満	0											
不満	0											

## 【研究科の総評】

依然として新型コロナウイルス感染収束の見通しは立っていないが、2022 年度前学期の研究科の授業も、原則、教室・研究室での対面式で行われた。

ただ、授業評価アンケートの回答者数及び回答率は昨年度72.0%に上昇したものの、今回は60.6%と12ポイント近く低下し、コロナ禍にあった一昨年度の57.7%は辛うじて上回ったが、低い数値となった。これは、授業内での周知が十分でなかったことや、少なからぬ留学生が後に「やり方がよくわからなかった」と述べていたことから、今後は、授業内でやり方も含めて指導しつつ評価に臨ませるようにしたい。

そこでまず、予習時間についてみると、「3時間以上」や「2時間以上 3 時間未満」との回答も 15.0%あったが、「1時間以上2時間未満」が 50.0%と最も多かった。しかし一方で、「30分未満」も 15.0%存在することは、これまでと同様、大変気にかかるところである。

他方、復習時間については、こちらも「3時間以上」や「2時間以上 3 時間未満」との回答が計 35.0%あったが、最も多かったのが「1 時間以上2時間未満」の 50.0%であり、「30分未満」の者も15.0%であった。さすがに昨年度のように「ほとんどしなかった」と回答した者は今回はいなかった。

日常的な研究を主たる目的とする院生の予習・復習時間としては、この時間数は少ないとの印象は否めない。しかもこの数値は前回よりやや減少しており、最頻値が「1時間以上2時間未満」、中には「30分未満」の院生も少数ながらいることから、今後も授業外学修・研究時間を増やしていく仕掛けや指導が一層、必要になると考える。

次に教員の授業に関する項目では、総じて「強くそう思う」と「そう思う」がほとんどであり（両者を合わせると、ほとんどの項目で100%となる）院生が教員の授業に満足していることが読み取れる。このことは、院生と教員間に信頼関係が確立していることを物語っている。しかし、「この授業を受けて研究意欲が増したか」の質問に対しては、「強くそう思う」が55.0%と他の項目の評価よりかなり低く、15.0%が「どちらともいえない」と回答している。研究科として、その原因究明と併せ、改めてその指導内容等の確認・共有などの対応が急務であると思われる。

最後に、全体としてみると、今回も多く多くの院生が自身の履修・受講する授業科目について概ね満足しているという評価結果であり、よかったと感じる。今回もこれまでと同様、授業を受講することが今後の研究の展開に繋がっていくことは確かだと考えられる。総じて意欲や熱意が感じられたという回答もほとんどで、大学院授業担当教員の努力も大きいものと思われる。以上、アンケート調査した授業科目では、若干の課題もあるが、多くの院生から良好な評価を受けているとの判断が可能で、これを今後も継続する一層の努力が望まれる。

(経済学研究科長 下田 直樹)

## 【学生向けコメント】

---

### 実証分析特論

毎回の課題をきちんと提出した履修者の人たちは、すでに修士論文の執筆に必要な実証分析を自力で行うことができる実力がついたと信じています。これからも、授業を通じて培った能力を活かして、優れた修士論文を完成し、専門知識を活かして社会で大活躍してくれることを祈念しております。

---

### ミクロ経済学特論

出来る限り難易度を調整しつつ、個人的な対応を図って行く予定です。

---

### 会計学特論

ビジネスの言語といわれる会計の基本をとにかく身につけてほしいと思っています。簿記・会計は経済学のような難しい数学は不要で、練習問題を繰り返し解けば必ず理解できますし、これまでは実際に理解できていると思っています。

---

### 経営学特論

前学期受講お疲れ様でした。前学期は Zoom 参加の方も多くいましたが、後学期は対面講義を基本としたいと思います。また、アンケートや講義後の manaba レポートの提出率が低く、学生の反応がわからない状態です。毎回、講義後のレポートをご提出ください。講義進行の上で、参考とさせていただきます。

---

### 経営管理特論

授業は学生と教員のみinnで作っていくものです。みんなが協力してくれたので充実した前学期になりました。ありがとうございます。後学期もこの調子で頑張っていきましょう！

---

### 研究・論文技法演習

まだ半年あります。頑張ってください。

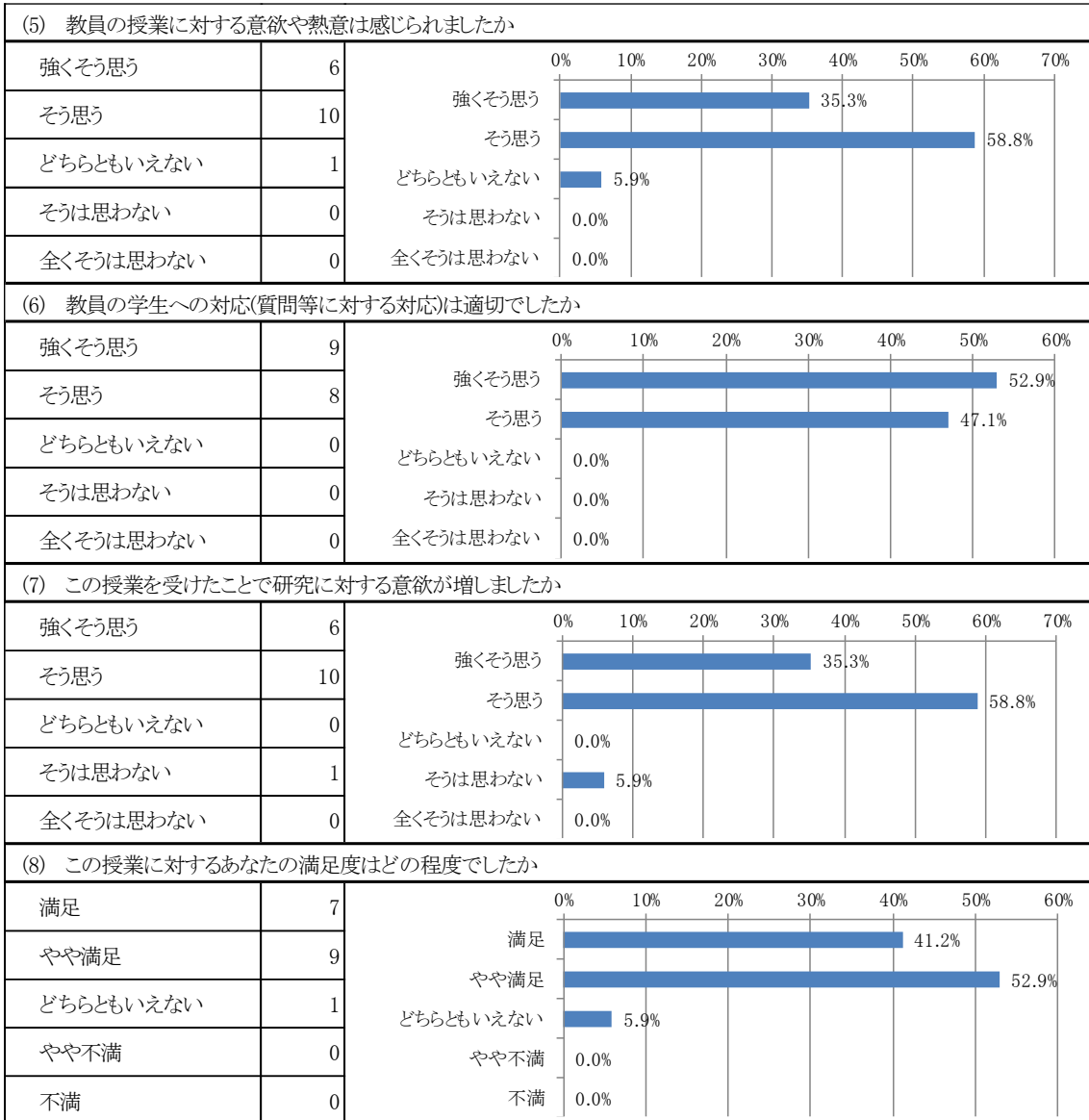
---

(3) 不動産学研究科

【集計結果】

対象者数(のべ)	17
回答者数(のべ)	17
回答率	100%

(1) あなたはこの授業1回につき、予習に平均何時間取り組みましたか														
3時間以上	2	<table border="1"> <tr><td>3時間以上</td><td>11.8%</td></tr> <tr><td>2時間以上3時間未満</td><td>5.9%</td></tr> <tr><td>1時間以上2時間未満</td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>30分以上1時間未満</td><td>52.9%</td></tr> <tr><td>30分未満</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ほとんどしなかった</td><td>11.8%</td></tr> </table>	3時間以上	11.8%	2時間以上3時間未満	5.9%	1時間以上2時間未満	17.6%	30分以上1時間未満	52.9%	30分未満	0.0%	ほとんどしなかった	11.8%
3時間以上	11.8%													
2時間以上3時間未満	5.9%													
1時間以上2時間未満	17.6%													
30分以上1時間未満	52.9%													
30分未満	0.0%													
ほとんどしなかった	11.8%													
2時間以上3時間未満	1													
1時間以上2時間未満	3													
30分以上1時間未満	9													
30分未満	0													
ほとんどしなかった	2													
(2) あなたはこの授業1回につき、復習に平均何時間取り組みましたか														
3時間以上	0	<table border="1"> <tr><td>3時間以上</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>2時間以上3時間未満</td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>1時間以上2時間未満</td><td>35.3%</td></tr> <tr><td>30分以上1時間未満</td><td>23.5%</td></tr> <tr><td>30分未満</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>ほとんどしなかった</td><td>23.5%</td></tr> </table>	3時間以上	0.0%	2時間以上3時間未満	17.6%	1時間以上2時間未満	35.3%	30分以上1時間未満	23.5%	30分未満	0.0%	ほとんどしなかった	23.5%
3時間以上	0.0%													
2時間以上3時間未満	17.6%													
1時間以上2時間未満	35.3%													
30分以上1時間未満	23.5%													
30分未満	0.0%													
ほとんどしなかった	23.5%													
2時間以上3時間未満	3													
1時間以上2時間未満	6													
30分以上1時間未満	4													
30分未満	0													
ほとんどしなかった	4													
(3) 教員はこの授業の目的と目標をきちんと説明しましたか														
強くそう思う	8	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>47.1%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>47.1%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>5.9%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	47.1%	そう思う	47.1%	どちらともいえない	5.9%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%		
強くそう思う	47.1%													
そう思う	47.1%													
どちらともいえない	5.9%													
そうは思わない	0.0%													
全くそうは思わない	0.0%													
そう思う	8													
どちらともいえない	1													
そうは思わない	0													
全くそうは思わない	0													
(4) 教員の説明は分かりやすかったですか														
強くそう思う	6	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>35.3%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>52.9%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>11.8%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	35.3%	そう思う	52.9%	どちらともいえない	11.8%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%		
強くそう思う	35.3%													
そう思う	52.9%													
どちらともいえない	11.8%													
そうは思わない	0.0%													
全くそうは思わない	0.0%													
そう思う	9													
どちらともいえない	2													
そうは思わない	0													
全くそうは思わない	0													



## 【研究科の総評】

回答率が前年度より 22%ほど改善して 100.0%となった。アンケートの趣旨を理解してすべての学生が回答してくれたことをまず評価したい。

教員の熱意、対応のほか、教員の説明力、学生の研究意欲の増進、満足度についてはいずれも高い評価を得ており、教員の取組みはおおむね適切なものであると受け取っている。もっとも、説明の分かりやすさ、教員の意欲や熱意、質問に対する対応はいずれも、最も肯定的な回答よりではなく 2 番目に肯定的な回答が最も多いことについては、さらに改善し、最も肯定的な回答を最頻値とするよう努力していきたい。

学生の学びの姿勢を予習の平均時間で見ると、3 時間以上が 11.8% (2021 年度は 0.0%) と増加する一方、30 分以上 1 時間未満が 52.9% (2021 年度は 37.5%) に増加するなど、予習への取組姿勢の差異が拡大したことは気がかりな点である。わけても、ほとんどしなかったが 11.8% いることは残念な結果である。当該学生の属性と授業の適合性などを検討し、授業内容と予習内容の構成を再考するなど、必要な改善策が必要である。

復習時間についても 2 時間以上 3 時間未満が 17.6% (2021 年度は 0.0%) に増加する一方、ほとんどしなかったが 23.5% (2021 年度は 0.0%) と取組姿勢の差異の拡大が確認できる。復習の必要性や方法についての教授方法を再検討する必要がある。

研究に対する意欲の向上で「強くそう思う」、授業に対する満足度で「満足」はそれぞれ 35.3%、41.2% で、2021 年度はいずれも 75.0% であったことと比較すると見劣りする結果となった。学生の研究心や探究力を一層大きく共振させる教授方法を開発していく必要がある。

本件アンケートの対象学生は主として 2022 年度入学の 1 年次生であるが、学生数が少ないこと及び入学までの背景が多様で、意欲、専門知識、語学力などが様々であったこと、さらに、学部からの進学者は高学次で遠隔授業が多く、少人数形式での授業の経験が乏しいことなどから、教員が学生の実情に合わせた授業運営をおこなったことが反映されたものと考えられる。もとより、予習復習をしっかりと励行することで成立し成果が得られる授業運営が求められる。

(不動産学研究科長 中城 康彦)

## 【学生向けコメント】

---

### 不動産研究方法論

---

修士論文の初期の段階で受講するので、授業の内容で、具体的にイメージしにくいことが多かったかもしれません。これからテーマ発表、中間発表、事前審査会と何回か、研究をプレゼンテーションする場面があり、そののちに論文の提出に至ります。各場面で又は論文執筆の段階で、この授業で説明された研究作法を振り返って、自分の研究をチェックしてみてください。

---

### 日本不動産事情特論

---

授業評価アンケートにご協力いただいた受講生の方、回答ありがとうございました。アンケートの評価結果を踏まえ、今後とも、さらにより良い講義にしていきたいと考えています。

---

### 不動産企画・経営特論

---

アパート経営を題材として、なるほど不動産学、と思える授業を行っている。2年生までに宅建士の資格取得や不動産専門科目の学修に取り組んできた学生は、改めて不動産学の可能性と学ぶ喜び、さらには社会人として働く自信を感じるはずである。不動産学を構成する、法学、経済学、建築学、経営学を網羅的に学修するので、予習復習が重要となる。全般的に「積極的に取り組み」、「自分なりに理解」、「興味や関心が深まる」学生が多いことはうれしい限りである。一方、残念ながら十分な予習復習をしていない学生が含まれていることがアンケート結果から伺えるほか、未完成、未提出のエクセル課題も少なからずあった。予習復習の不足や根気よく地道に取り組む姿勢の不十分さが、授業の内容が理解できないなどの評価につながる可能性がある。学修は「与えられるもの」ではなく、「取り組むもの」なので、自分の可能性とポテンシャルを引き出す自己研鑽の場として授業に取り組んでもらいたい。

---

### 都市空間マネジメント特論

---

この講義では、過去事例や関連データから都市空間のあり方、マネジメント方法を整理、学ぶとともに身近な都市空間を見学し、まとめる演習的な要素を取り入れて、能動的に理解を深める講義を検討しています。課題のテーマ設定、事前事後の追加視察等、自発的な取組が全員からみられてこちらも刺激された点が多くありました。今後の研究につながる部分があれば嬉しいです。

---

### 居住環境マネジメント特論

---

ゼミ形式の授業に協力していただいたおかげで、有意義な学修の機会ができたと自負しております。授業時間内に、積極的に質問したり、解決策を考えたり、疑問を提示するなど、議論の活性化に貢献していただいた学生には感謝しかありません。ありがとうございました。マンション管理を専門職業とすることは無いと思われませんが、マンション管理問題は、財産管理と共同生活管理の2つの側面を、民主主義的に集団で進めていかなければならないという、政治的社会的に興味深い問いを孕んでいます。この授業で考えたことや得られた知識を、みなさんの仕事や生活で応用し、活用していただければ幸いです。

---